

聖霊降臨節第12週 聖餐礼拝

2018年8月5日

第一礼拝(午前8:00～) 聖餐礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:00～)

前奏	(新聖歌41)		
聖餐の招詞	司会者	同
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	—	同
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」	—	同
祈禱	司会者	同
分餐	(新聖歌53)	—	同
感謝の賛美	新聖歌209「慈しみ深き」	—	同
聖書朗読	『マタイの福音書』5章10-16節(新約6頁)	司会者	同
黙想	—	同
説教	「 ^{うま} 美味くて ^{まず} 不味いもの」	近 伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌429「地 ^{ちり} の塵 ^{ひと} に等しかり」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	片山 勝三兄	
諸報告	司会者	同
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地 ^{あめつち} こぞりて」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近 伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)

第一礼拝	司会：近 伸之牧師 説教：近 伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	聖餐準備：伊東 一馬兄 配餐：伊東 一馬兄
司集	会：近 伸之牧師 会：小林 洋子姉 小山 千春姉	映像・音響：山崎 敬典兄 配餐：伊東 一馬兄 説教の録画：近 伸之牧師	C S 担当：近 伸之牧師 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

- 「義」(10)は社会正義ではなく、神の義(聖書の基準に照らした生き方)。時代によって両者は対立する
- 「殉教者の血は教会の種子である」(テトウリアス)。キリストにあって自然に生きる者は必ず迫害を受ける
- 「天下一美味かつ悪味は〇」(大久保彦左衛門)。キリスト者は他者を活かすと共に疎まれる者でもある

先週の暗唱聖句

「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます」
(『マタイの福音書』6章33節)

今週の暗唱聖句

「みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となつてはいけません」
(『ヤコブの手紙』1章22節)

牧師のサイン ()

個人、団体からの来信

2018年8月5日

教団紙「世の光」第815号／「聖ヶ丘通信」第96号、「会報」38号、夏期献金のお願い／
「らいふだより」盛夏号／新潟福音放送協力会より、夏季特別献金お願い／
「ふれあいフェスティバル」の案内【8月23日(木)15:00～17:00新津第三小学校グラウンドにて】

先週の集会出席者数

7/29(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性- 幼児女子- 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児計2 成人女性1
	第一礼拝	男2 女3 7/30(月) 教会学校主催の
	歓迎礼拝(子ども)	男13 女20 アイスクリームパーティー 男5 女13(新2)
	子ども夕拝	男2 女4 8/1(水) 水曜祈禱会 男9(求2) 女6
		8/2(木) しゃべり場タピタ 男- 女3
		8/3(金) 金曜祈禱会 男1 女4

諸集会のご案内

	※月に一回、実用書道教室を開催。	
月曜家庭集会	8/6(月)	山崎岩雄兄宅
ネヘミヤ祈禱会	8/8(水)午後7:30	教会堂 司会：山崎 敬典兄
しゃべり場タピタ	8/10(金)	※都合により休会 問合せ先：長谷川睦子姉
金曜祈禱会	8/10(金)夜	教会堂

8/12(日) 聖霊降臨節第13週

第一礼拝 午前8:00	司会：近 伸之牧師 説教：近 伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉
教会学校 午前9:00	担当：佐藤 繁実兄	
第二礼拝 午前10:30	司会：伊東 一馬兄 集会：小山 千春姉 笹川 清子姉	映像・音響：片山 健司兄 感謝祈禱：片山 初子姉
掃除当番順	8/5[片山 初子姉] 8/26[笹川 清子姉]	8/12[小林 洋子姉] 8/19[小山 千春姉]
主日の予定	会堂建築学び会	
	※夕拝は、午後7:00から新潟福音教会で持たれる「新潟平和夕拝」に合流	

報告

- 礼拝の感謝と本日の予定
聖餐礼拝の恵みを感謝します。主の十字架と復活を心に刻みつけて新たな一ヶ月を歩みましょう。礼拝後は昼食をいただき、CS教師会や定例役員会を行います。
- 教会学校の活動のため
先週教会学校の主催でアイスクリームパーティを行いました。新しい方々が導かれたことを心から感謝します。【氏田悠大くん、高野弘子さん、高野 昆(たすく)くん、堀川紀子さん、堀川りょうたくん、堀川あつしくん、堀川ちはるちゃん】明日6日(月)から聖ヶ丘U-13キャンプが開催されます。参加者、奉仕者ひとり一人が守られますように。
- 先週の来会者
8月1日(水)祈禱会に、吉田恵介くん(敬和高生)と吉田徹さん(お父さま)が出席してくださいました。

イエス様は、山上の垂訓の中で、義に飢え、渇く者の幸いについて教えられた後、引き続いてあわれみ深い者の幸いについて語られました。

「あわれみ深い者は幸いです。その人はあわれみを受けるからです。」(マタイ5・7)

義だけが強調されますと、窮屈な堅苦しさを感じ、何かと角が立つような場面も起こりがちです。かといってあわれみだけに訴えられますと、どうも物事が軟弱になり、夏目漱石の『草枕』の一文ではありませんが、「情に掉させば流される」という傾向が生じるようです。その意味でも、義を求める必要と共に、あわれみ深い者となるようにとのイエスの教えは、バランスの取れた生き方を私たちに示すものとして、まことに興味深いものがあります。

さて「あわれみ深い」という言葉の意味ですが、原語のギリシャ語には、「相手の立場に立つ」という意味が含まれていると言われます。「あわれむ」という言葉に対する日本人の感覚は、どこか上から見下した形での同情といった響きを感じられないでもありませんが、ここでいうあわれみとは、それとはまったく違います。

ハワイのモロカイ島で、ハンセン氏病患者のために生涯をささげたことで知られるダミアン宣教師にこういうエピソードがあります。

彼はハンセン氏病の方々を気の毒に思い、懸命に神様の愛について、また聖書の教える希望について語るのですが、彼らはこの病の苦しみを経験したことのない者に何がわかるか、とばかり、耳を傾けないどころか彼の伝道に反対さえしたといひます。それでダミアンは「私も彼らと同じハンセン氏病にしてください」と本気で祈り始めたというのです。

ある夜、たき火をしながらその灯りで彼は本を読んでいました。そのうちにたき火が足もとにくずれて、彼の足をこがしているのに、彼はしばらくの間気がつかずにいたのです。彼はそれがなぜであるかを知りました。そして「神様ありがとうございます。私の祈りに応えて、私を彼らと同じハンセン氏病にくださったのですね」と彼は躍り上がりながら、神様に感謝したというのです。それからというもの、島の人々はみな心を開いて、ダミアンの語る神の言葉に耳を傾けるようになったといひます。

なぜ彼はそのような生き方をすることができたのでしょうか。じつは彼の信ずるイエス・キリストこそが、誰にもまさって、真に「あわれみ深い者」として生き、そして死なれた方だということを知っていたからだと思うのです。イエス・キリストこそは、私たち罪人とまったく同じ立場を取られたお方です。私たちが「あわれみ深い者」となるためには、まず真に「あわれみ深い者」なるこのイエス様を深く知ることだと思うのです。



ひ ど け い く る な つ さ か
日時計に狂ひなし夏旺んなり (山口波津女)

異常な猛暑・酷暑の中、熱中症対策に注意しよう。「水分・塩分補給をしっかりと行うこと」と「暑さを避けること」が重要だが、水やお茶だけでは塩分補給が不十分であるという。スポーツドリンク、梅昆布茶、味噌汁、また0.1~0.2%程度の食塩水が有効。

2018年度教会目標 「弟子の覚悟をもって」

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



8/11(土)ライフ・ラインのつどい in 新潟
「愛に取り囲まれ」関根弘興牧師

この6月に新潟県三条市で「ライフ・ラインのつどい」を行いました。つどいでは、番組ゲストとして出演したサクソ奏者・安武玄晃さんが演奏をし、関根弘興牧師が「愛に取り囲まれ」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。そんな「つどい」の様子を紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGIN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155
ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>
電子メール: info@toyosakakyokai.net
ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

